

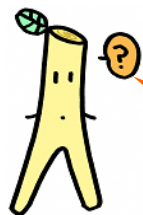
藤枝市の家計と財産の概要

～公会計制度にみる藤枝市の平成29年度決算（簡易版）～



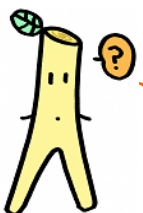
公会計制度ってなに？

官庁会計（現金主義・単式簿記）と呼ばれる会計制度に加えて、発生主義・複式簿記などの企業会計を導入しようとする取り組みなのよ。



何のためにやるの？

現金の動きだけでなく、市の持っている資産や負債をひとまとめにして把握するために4つの財務書類を作って、中長期的な財政運営へ活用していくためなのよ。



4つの財務書類ってなに？
どんなものなの？

「行政コスト計算書」、「貸借対照表」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」のことよ。それぞれの表には下記のとおり関係関係があるのよ。



えだっこ 藤枝出身の作家の小川国夫さんが本の中で藤枝生まれ・藤枝育ちの人のことを「枝っ子」と書いていたことから生まれたキャラクター。藤枝の文化や歴史をPRする。

朝比奈ちまき

朝比奈名物『ちまきもち』を広めるためやってきた ちまき小町。藤枝市岡部地区の文化や歴史をPRする。

4つの財務書類の特徴と関係は？

表の名称	表の特徴
行政コスト計算書	1年間の行政サービスに費やされたコストの額を示したもの
貸借対照表	年度末における資産・財産とその調達財源（負債・純資産）の状況を示したもの
純資産変動計算書	貸借対照表の純資産の1年間の変動内容を示したもの
資金収支計算書	1年間の資金（現金）の収支の状況を示したもの

行政コスト計算書

経常費用
経常収益
臨時損失
臨時利益
純行政コスト

貸借対照表

資産	負債
うち 現金預金	純資産

純資産変動計算書

前年度末残高
純行政コスト
財源
固定資産等の変動
本年度末残高

資金収支計算書

業務活動収支
投資活動収支
財務活動収支
前年度末残高
本年度末残高

+ 本年度末
歳計外現金残高

対象となる会計は？

連結会計

全体会計

【特別会計】

国民健康保険事業、簡易水道事業、公共下水道事業、
駐車場事業、農業集落排水事業、介護保険、後期高齢者医療

【企業会計】

水道事業、病院事業

【その他の団体】

藤枝市土地開発公社、(株)まちづくり藤枝、志太広域事務組合 等

一般会計等

一般会計・土地取得特別会計・
内陸フロンティア事業特別会計

私たちが
全体会計の
4つの財務書類について
説明するよ

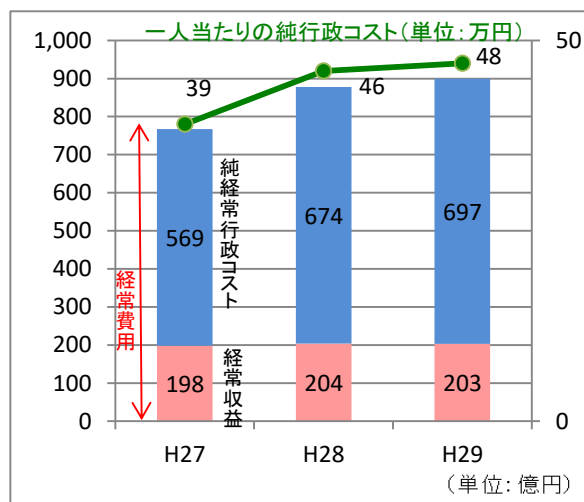


行政コスト計算書

PL

1年間の行政サービスを提供するためにかかったコストは900億円で、使用料や手数料などの利用者が負担する費用を差し引いた純経常行政コストは697億円に、臨時損益を加えた純行政コストは699億円となりました。

経常費用・・・900億円 ①	
人にかかるコスト (人件費:職員の給料や議員の報酬など)	162億円
物にかかるコスト (物件費:消耗品や委託料、減価償却費など)	253億円
その他のコスト (支払利息など)	27億円
移転支的的なコスト (補助金等、社会保障給付費、他会計繰出金など)	458億円
経常収益・・・203億円 ②	
使用料・手数料などの利用者負担	188億円
その他経常収益	15億円
純経常行政コスト(①-②)A・・・697億円	
臨時損失及び臨時利益 B・・・2億円	
純行政コスト(A+B)・・・699億円 ②	



経常収益 1億円減

財政調整基金利子 2億円減 など

経常費用 22億円増

斎場建設に伴う志太広域事務組合負担金 9億円増
認定こども園施設整備費補助金 3億円増
臨時福祉給付金 3億円増 など

【統一的な基準による変更点】

平成28年度決算分から減価償却費が純資産変動計算書から行政コスト計算書に算入されることになったため、平成28年度の経常費用のうち減価償却費分(43億円)が増額しています。

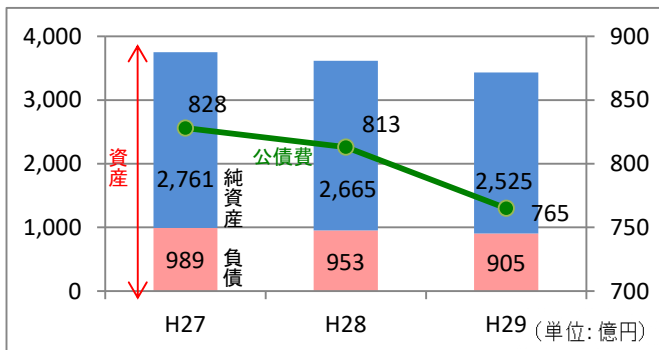
貸借対照表

BS

藤枝市が持っている資産は3,430億円で、資産調達のため将来世代が負担する負債が905億円、これまでの世代が負担した純資産が2,525億円です。

資産 (現在保有している資産)		負債 (将来世代の負担) 905億円	
固定資産	3,253億円	固定負債	793億円
有形固定資産	3,100億円	地方債	683億円
事業用資産	830億円	退職手当引当金	68億円
インフラ資産	2,240億円	その他	42億円
物品	30億円	流動負債	112億円
無形固定資産	1億円	1年以内償還地方債	82億円
投資その他資産	152億円	賞与等引当金	9億円
流動資産	176億円	その他	21億円
現金預金	60億円		
未収金	35億円		
基金	80億円		
その他	1億円		
繰延資産	1億円		
		純資産(これまでの世代が負担) 2,525億円	
		純資産合計	2,525億円
		固定資産等形成分	3,333億円
		余剰分(不足分)	△808億円
資産合計 3,430億円		負債・純資産合計 3,430億円	

↑ 藤枝市が持っている資産
 ↑ 返済等が必要な負債
 ↑ 財産の元となったお金の調達方法
 ↑ 自己資産



資産 188億円減

事業用資産 17億円減
インフラ資産 26億円減
投資及び出資金 138億円減 など

負債 48億円減

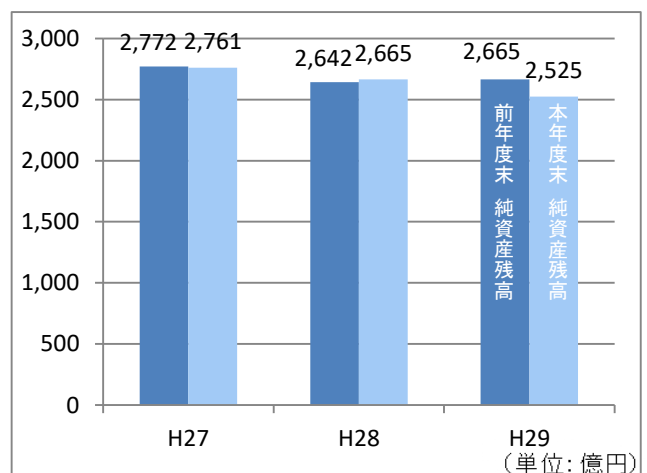
市債の返済
一般会計等 11億円減 病院事業 12億円減
公共下水道事業 6億円減 など

純資産変動計算書

NW

純行政コスト699億円に対して、税収等や国県等補助金などの財源が697億円で、差額が△2億円になっています。※当年度、一般会計で持つ出資金と企業会計で受け入れている純資産の相殺を行ったため、最終的な純資産の変動は、△140億円となっています。

平成28年度末純資産残高・・・A	2,665億円
純行政コスト(△)・・・B	△699億円
財源・・・C	697億円
税収等	513億円
国県等補助金	184億円
その他の変動・・・D	△138億円
平成29年度末純資産残高 (A+B+C+D)	2,525億円



資金収支計算書

CF

行政運営にかかる資金収支は、税収や国庫等補助金収入などの増額により5億円の資金増となっています。
 基礎的財政収支がプラス46億円になりました。

基礎的財政収支＝業務活動収支(支払利息支出を除く)100億円＋投資活動収支△54億円

業務活動収支

業務活動支出 806億円 (人件費、物件費、支払利息、 社会保障給付費など)	業務活動収入 895億円 (税収、国庫等補助金、使用料など)
臨時支出 0億円 (災害復旧事業費など)	
業務活動収支 ① 89億円	

投資活動収支

投資活動支出 128億円 (固定資産の取得、基金積立、 出資や投資、貸付金など)	投資活動収入 74億円 (基金の取り崩し、貸付金の回収、 国庫から投資にかかる補助金など)
	投資活動収支 ② 54億円

財務活動収支

財務活動支出 84億円 (地方債の償還)	財務活動収入 54億円 (地方債の発行)
	財務活動収支 ③ 30億円

平成28年度末資金残高	54億円
+	
平成29年度資金収支	5億円
業務活動収支①	89億円
投資活動収支②	△54億円
財務活動収支③	△30億円
↓	
平成29年度末資金残高	59億円

業務活動収支 15億円減

税収等、国庫等補助金収入など 8億円増
 物件費等支出など 23億円増

投資活動収支 29億円増

基金取崩しなどの収入 43億円増
 公共施設等整備費、基金積立などの支出
 14億円増

財務活動収支 5億円減

市債発行収入など 5億円減

まとめ

平成29年度は減価償却や企業会計への出資金の相殺等により資産は減少しましたが、市債(借金)は着実に減少しており、基礎的財政収支もプラスであることから、昨年度に引き続き、藤枝市の財政は**バランスのよい健全な財政運営**を保っていることがわかります。



藤枝市の財政状態は
健全で安心です！

藤枝市役所 財政経営部財政課

～未来を見据えた効率的な財政経営～

〒426-8722

静岡県藤枝市岡出山1-11-1

電話：054-643-3234 FAX：054-643-3604

E-mail：zaisei@city.fujieda.shizuoka.jp

公会計についてもっと詳しく知りたい方は詳細版の資料もありますので、是非ご覧下さい。

【藤枝市ホームページ】<http://www.city.fujieda.shizuoka.jp> 「市政情報」ー 財政(予算・決算ほか)